

支部の成立を濫觴とし、次いで川崎造船所職工の神戸支部、三菱造船所職工の兵庫支部、港川発電所員等の尻池支部、鐵道院應取工場職工等の須磨支部てふ順を追うて發達し、大正四年三月各支部提携して神戸聯合會を成し、本部長高山豊三氏を聘して主務とす。神戸聯合會の偉大なる收獲は翌五年賀川豊彦氏を迎へたるにあり。神戸聯合會が大阪及京都に對して主動的地位を占むるに到れるもの一に氏の人格と學識を中心とする精神的結合の力にありと云ふを得べし。大正七年八月賀川氏は久留主務と共に神戸聯合會機關紙新神戸を發行、同年の秋神戸聯合會は主唱して神戸、大阪、京都の三聯合會は從來の友誼的交渉關係に一步を進め、同盟を形成し、協力目的に向つて邁進するの策を樹つ。同年十二月廿六日神戸聯合會代議員會先づ之を可決し大阪、京都亦之に賛し、大正八年四月廿日大阪市中ノ島公會堂に於て發會式を兼ねたる講演會を擧げたり。同盟は名づけて友愛會關西労働同盟會と云ふ。

此同盟の形式に二個の特色あり。一は締盟三聯合會が其自治を完全に保有することにして、他の一は三聯合會の會長及同盟會長は原則として何れも労働者を以て充て、此會長を補佐する總務及主務は從來の關西出張所及各聯合會在勤者を以てし、最高執行機關としての理事は其半數を各聯合會の代議員より、殘る半數を從來關係淺からざりし知識階級の間に採り、知識階級と労働階級との調和を巧にせしにあり。而して同盟會成立以來理事長たりしは賀川豊彦氏なるが、賀川氏は執行機關たる理事會を超越して、思想的に同盟會の指導的全權を掌握するに到れる亦自然の數ならずとせず。同盟會は

成立とともに左記「宣言」を發表したり。八年四月發表されたる其宣言が最近同會の公にしたる各種の宣言書と理路一貫し、毫も世潮に動ぜざるの所以又以て賀川氏の同盟會に於ける根柢を窺ふに足らん發會の宣言左の如し。

宣 言

我等は生産者である。創造者である。勞作者である。我等は鑄物師である。我等は世界を鑄直すのだ。又我等は鐵槌を持つて居る。我等に内住する聖き理想と、正義と、愛と、信仰の祝福に添はざるのがあれば、我等はその地金がさめざる中に、其槌を打ちおろすのだ。我等は意志と、筋肉と鐵槌と軸を持つて居る。我等は内住の理想を以て宇宙を改造することが出来る。騒ぐな人々よ、外國電報の神經衰弱にかゝるな。冷靜にそして的確に我等が打ちおろす鐵槌の跡を見よ。生産者の道は建設と創造にあるのだ。

我等はこの精神を以て如斯宣言す。勞力は一個の商品でない。資本主義文化は貨銀鐵則と、機械の壓迫により、労働者を一個の商品として、社會の最下層に沈淪させて了つた。故に我等は労働組合の自由と、生活權と労働權と、集合契約權と正義に基く同

盟罷業の權利を主張し、治安警察法第十七條の撤廃と、現行工場法の改正を要求す。我等は八時間労働制の採用と、最低賃銀の制定を凡ての労働組織に要求す。即ち工場作業にも、家庭に於ける内職作業に對しても同様に、最低賃銀の制度を要求するのである。殊に今日労働者の家庭に行はれつゝある内職工業なるものは、その悲惨言語に絶して居る。我等は速かにその改良を要求す。

我等は労働者の災害に際する賠償法の制定と労働者に對する廢疾、災害、失業、疾病、養老保險の確定を要求す。又工場の民主的組織と、その立憲的經營を當然の要求と信するものである。我等はかくして、資本主義文化の疾患である恐慌と失業に備へ、労働市場の悪風を打破し、勞力の掠奪者と、中間商人の横暴を排し、労働者自身が欺かれて、契約労働の苦役につきつゝ、ある今日の慘狀より自らを救済せんとするのである。

更に我等は日本に於ける工業界の特殊現象として、工場内に於ける女子勤勞の多大なるを思ふが故に、同一労働に従事する男女労働者の同一賃銀を要求し、彼等の苦惱の削減せられんことを祈る。